

肺膿瘍について

肺膿瘍

微生物感染による肺実質の壊死
壊死性肺炎、肺壊疽、肺化膿症なども同義

肺膿瘍の大部分は口腔内に常在する嫌気性菌による誤嚥性肺炎の合併症として生じる

慢性経過での発症も見られ(約40%)、肺癌、肺真菌症、肉芽腫性多発血管炎(Wegener肉芽腫症)などとの鑑別も問題となる

画像診断

X線写真では空洞や肺内のniveau(鏡面)像
CTでは空洞や壊死巣の検出感度に優れる(造影が有用)